



2 0 2 0 年 2 月 1 3 日

日 本 鉄 道 労 働 組 合 連 合 会

## J R 四 国 労 組 「 第 3 3 回 定 期 本 部 委 員 会 」

# 組 織 の 総 力 を 結 集 し、2 0 2 0 春 季 生 活 闘 争 を 闘 い 抜 く



J R 四 国 労 組 は 2 月 7 日、香 川 県 宇 多 津 町 で 第 3 3 回 定 期 本 部 委 員 会 を 開 催 し、当 面 の 活 動 方 針 を 決 定 し た。

大 谷 清 執 行 委 員 長 ( J R 連 合 副 会 長 ) は 挨拶 で、「安全・安定・安心輸送の確立」「2 0 2 0 春 季 生 活 闘 争」「政 策 課 題 解 決 に む け た 取 り 組 み」の 3 点 に つ い て 所 信 を 述 べ、本 部 委 員 ・ 特 別 本 部 委 員 に 対 し て 積 極 的 な 討 論 参 加 と 活 動 方 針 の 補 強 を 要 請。2 0 2 0 春 季 生 活 闘 争 に つ い て は、

「人 手 不 足 の 深 刻 さ に 対 す る 危 機 感 を 労 使 で 共 有 し、人 へ の 投 資 を 強 化 す る こ と で、人 材 の 確 保 ・ 定 着 ・ 育 成 を 図 り、J R 四 国 グ ル ー プ の さ ら な る 発 展 に 繋 ぎ 合 っ て い かな け れ ば な ら ない」と し た 上 で、「J R 四 国 ・ ジ ェ イ ア ー ル 四 国 バ ス の 責 任 組 合 と し て、定 期 昇 給 の 確 保 を 絶 対 条 件 に、ベ ア 3, 0 0 0 円 を 含 む 月 例 賃 金 6, 0 0 0 円 以 上 の 引 き 上 げ を 基 軸 と し た 総 合 生 活 改 善 闘 争 を 展 開 し、組 合 員 の 負 託 に 応 え たい」と の 決 意 を 述 べ た。

ま た 当 日 は、来 賓 と し て 榎 原 一 吉 連 合 香 川 事 務 局 長 と 大 塚 達 夫 四 国 交 運 労 協 事 務 局 次 長 が 出 席。J R 連 合 か ら は 北 村 公 次 労 働 政 策 部 長 が 出 席 し、J R 連 合 第 3 2 回 中 央 委 員 会 で 決 定 し た 活 動 方 針 や 「 J R 連 合 ビ ジ ョ ン 」 に つ い て 説 明 し た。

議 事 で は、執 行 部 が 提 案 し た 定 期 大 会 以 降 の 経 過、当 面 の 活 動 方 針 ( 案 ) に 対 し て、2 1 人 の 本 部 委 員 ・ 特 別 本 部 委 員 が 発 言。若 年 ・ 中 堅 社 員 の 離 職 に よ る 人 手 不 足 の 実 態 や 政 策 課 題 解 決 に む け た 支 部 ・ 分 会 独 自 の 取 り 組 み、処 遇 改 善 ・ 組 織 課 題 ・ 業 務 課 題 に 関 す る 要 望 な ど 多 岐 に 亘 る 発 言 が あ り、担 当 執 行 委 員 答 弁、嶋 田 剛 好 書 記 長 の 集 約 答 弁 を 経 て、す べ て の 議 案 が 満 場 一 致 で 採 択 さ れ た。

そ の 後、「我 々 組 合 員 が 将 来 に む け て 意 欲 を 持 っ て 働 き 続 け る た め に、J R 四 国 労 組 の 総 力 を 結 集 し て 2 0 2 0 春 季 生 活 闘 争 を 闘 い 抜 く」と し た 委 員 会 宣 言 を 出 席 者 全 員 で 確 認 し、最 後 に 大 谷 執 行 委 員 長 の 団 結 ガ ン バ ロ ー で 閉 会 し た。